

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年6月28日(2018.6.28)

【公開番号】特開2016-137042(P2016-137042A)

【公開日】平成28年8月4日(2016.8.4)

【年通号数】公開・登録公報2016-046

【出願番号】特願2015-13100(P2015-13100)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 2 0
A 6 3 F	7/02	3 0 4 D
A 6 3 F	7/02	3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月16日(2018.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の遊技を行なうことが可能な遊技機であって、

第1特定値から第2特定値になるまでカウントされる値を報知する報知手段と、

前記報知手段によって報知された値が前記第2特定値になったときに可動体の動作を含む第1演出を行なう第1演出実行手段と、

前記報知手段によって報知された値が前記第2特定値になったときに前記第1演出と異なる第2演出を行なう第2演出実行手段とを備え、

前記第2演出実行手段は、前記報知手段によって報知される値が前記第2特定値になった時点で前記第2演出を実行する一方、

前記第1演出実行手段は、前記第2特定値になった後に前記可動体の動作が開始されるように前記第1演出を実行する、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(1) 所定の遊技を行なうことが可能な遊技機(パチンコ遊技機1)であって、第1特定値(たとえば、「5」)から第2特定値(たとえば、「0」)になるまでカウントされる値を報知する報知手段(サブ表示装置152)と、前記報知手段によって報知された値が前記第2特定値になったときに可動体(可動体156)の動作(たとえば、可動体156を落下させる動作)を含む第1演出(可動体落下演出)を行なう第1演出実行手段(演出制御用マイクロコンピュータ100、図20のS604、図19のS506および図18)と、前記報知手段によって報知された値が前記第2特定値になったときに前記第1演出と異なる第2演出(たとえば、ステップアップ予告演出あるいは保留表示変化演出)を行なう第2演出実行手段(演出制御用マイクロコンピュータ100、図20のS603、S604、S606、S607、図19のS506および図18)とを備え、前記第2演

出実行手段は、前記報知手段によって報知される値が前記第2特定値になった時点で前記第2演出を実行する一方（図18でカウントゼロの時点からステップアップ予告あるいは保留表示変化演出を開始する）、前記第1演出実行手段は、前記第2特定値になった後に前記可動体の動作が開始されるように前記第1演出を実行する（図18でカウントゼロの時点から所定の遅延時間経過後に可動体の落下動作を開始する）。